

現代の中東

第43号

2007年7月

目次

視点

- GCC 諸国におけるシーア派と国家 福田安志 2
- サウジアラビアとオマーンを中心に -
- EU 拡大支持の理由 間 寧 22
- 経済, 文化, 民主主義 -

資料解題

- イスラム革命後の貸貸人・借借人関係法の改正とその契機 岩崎葉子 32

研究資料

- 第9期シリア人民議会選挙結果一覧 青山弘之 42

編集後記

5月20日にトリポリ近郊のナフル・アル＝バーリド難民キャンプで始まったファタハ・イスラーム運動とレバノン軍の戦闘を避けて、同キャンプで暮らすパレスチナ難民約3万人以上がビダーウィー難民キャンプに避難した。「避難民の一刻も早い帰宅が望まれる」という某テレビ局のコメントに、「そうだよ、パレスチナに帰してあげてよ」と突っ込みを入れてしまいました。（青山）

ここ数年イラク情勢やアフガン情勢に関心が集中していますが、イランでも革命以来30年近くにわたって激しい社会変化が進行中です。この5月に訪ねたイラン南部のデズフル周辺では、イランでも有数の裕福な農村の傍らに人口約3000人近くが居住する遊牧民パフティヤーリーの革

命後の定住村アンジーラクがありますが、彼らの生活状態はまさに限界水準です。エアポケットの中に落ち込んだような彼らの状況を何とかできないものか、ただただ切歯扼腕するばかりです。（鈴木）最近、日本でもエジプトの超長繊維綿を使ったシャツが2000～3000円という手頃な価格で売られているのをよく見かけます。GIZA45とかGIZA70といった品種も明記され、高品質な生地であることを謳っていますが、残念ながらそれらがエジプト製であることはまずありません。この前見かけたのはGIZA70を使ったミャンマー製のシャツでした。エジプトのアパレル産業の競争力を垣間見た気分になりました。（土屋）

本誌に掲載されている論文などの内容や意見は、外部からの投稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

現代の中東 No.43

2007年7月15日発行 ©

定価735円(本体700円)

アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

編集 『現代の中東』編集委員会
発行 研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3-2-2

TEL 043-299-9735 FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp